

古畑さんのオルガン演奏に見入る奥永さん(右)



大正期以前のオルガンか

大正期以前に製造された
とみられる古いオルガン
が、波田町の松本電鉄新
島々駅に隣接するカフェ
レイエル&ギャラリーやま
しろに寄贈された。松本市
安曇の乗鞍高原に別荘を持
つ奥永順子さん(左)が京
都府京都市が、家庭の事情で自
宅に置けなくなったオルガン
を託した。保存状態は良好
で、奥永さんは新天地で再

波田の喫茶店に寄贈

び奏でられる重厚な音色を
「ぜひ多くの人たちに聞い
てほしい」と願っている。
オルガンには金色で「Y
AMAHA ORGAN」と
「HAMAMATSU」と
記され、本体にソルの模様
が施されている。製造元の
ヤマハ(浜松市)による
と、鍵盤の上にある「スト
ップ」という部品の数など
から、明治末期から大正期
にかけて存在したモデルと
推測される。
奥永さんの夫・健一さん
(左)が昨年九月にけがで入
院した。近く退院すること
になったが、自宅に介護用
ベッドなどを置くため、オ
ルガンのスペースがなくな
った。奥永さんは今年三
月、カフェレイエルで開
かれた人形作り教室に参加
した際、大正期にフランス

重厚な音色 催し構想

で製造された古いピアノを
見て、店主の古畑博子さん
(右)にオルガンを店に置け
ないか投げかけたところ、
快諾された。
奥永さんは子供のころ、
教員だった母が弾くオルガ
ンをきょうだいで囲み、
「たなはたさま」などの童
謡を歌ったといい、「機会
があれば、きょうだいみん
なをここに連れてきたい」
と喜ぶ。古畑さんは「大切
にして、クリスマスにオル
ガンで賛美歌を弾いたり、
唱歌を歌う催しを開いたり
したい」と話している。
(赤羽洋輔)

カフェ プレイエル 所蔵 オルガン のこと

- 明治20年(1877年) 日本初、オルガン第一号が製作される
- 明治30年(1887年) ヤマハ(日本楽器)創業
- 明治33年(1890年) ヤマハ ピアノ製造
- 明治42年(1909年) **YAMAHA HAMAMATSU オルガン No.189955 製造**
37年間 姫路?
- 昭和21年(1946年) 上田家 所蔵 神埼郡神埼町粟賀町
45年間
- 平成3年(1991年) 奥永家 所蔵 京都市
18年間
- 平成21年(2009年) カフェ プレイエル所蔵 松本市波田
現在に至る

本番に向けて平和の大切さを訴える劇の練習に励む生徒たち



松本市の高綱中学校2年生が、26日の文化祭に向けて、命の尊さや平和の大切さを訴える劇の練習に励んでいる。松本市波田のギャラリー喫茶にある明治42年製のオルガンが、自分の見てきた歴史を回想するというオリジナルの物語で、戦争の悲惨さなどを表現する。

命や平和劇で表現へ

オルガンで賛美歌を歌っていた6人の子供が、戦争で運命を翻ろうされていく様子を描き「本当に大切なもの」を伝える物語だ。もともと兵庫県にあったというオルガンが戦後、松本市にきた経緯も紹介する。戦争と災害の違いはあ

高綱中2年生 26日に披露
準備を進めてきた。中沢颯也君(14)は「2年生100人で力を合わせて、戦争について伝えられたら」と話している。劇は26日午前中のステージ発表で披露される。(片岡 望)



市民タイムス
2014年9月24日

カフェ所蔵のリードオルガンが主人公になった舞台です。